【重要】　重点点検報告様式については、3ヶ月間の点検結果を1枚にまとめて報告してください。

① 「保有台数」については重点点検の実施期間（3ヶ月間）の平均台数を四捨五入し、整数値で記入してください。

輸支局等　　**定　期　点　検　報　告　様　式**　　別　紙　2

者数		回収率	

	大型バス（乗　合）	大型バス（貸　切）	大型トラック（被牽引車を除く）	大型トラック（被牽引車）
保　有　台　数				
定期点検実施台数				
うち 12月点検				

← 対象となる「大型車両」は、「乗車定員30人以上のバス」及び「車両総重量8トン以上のトラック」のことをいう。

（点検後の留意点等）
① 点検整備作業終了後には、エンジン上やエンジンルーム内に、ウエス等可燃物の置き忘れがないかを確認する。
② フューエル・フィルタ、オイル・フィルタ等を交換したときは、必ず試運転して、燃料又はオイルのにじみや漏れがないかを確認する。
※ 試運転時、マフラ、テール・パイプの接続部等から、排ガスが漏れていないかを確認。

※ 下記にない不具合については、左欄の「不適合」台数のみに

※ ご協力いただける場合は、「不適合」台数の総走行距離及び車齢別

② 「定期点検実施台数」については3ヶ月間で定期点検を実施した全ての車両台数を記入してください。（3ヶ月間で同一車両に対して2回以上定期点検を行った場合も、1台として計上してください。）

⑤ 「総走行距離別」と「初度登録年別」の内訳についても記入してください。

点　検　の　実　施　方　法	必須記 不適合	不具合別		50超～100万km	100万km超
1台の自動車で同じ不具合が、複数箇所見つかった場合は、1件として計上					
タンク、フューエル・ポンプ、ホース、パイプ、キャブレータ、インジェクタ、ノズル・ホルダ、ョン・ポンプなどからの燃料漏れの有無を目視などで点検する。 やエンジンルーム内のエンジン下に燃料の漏れた形跡等がないか、注意して点検する。 ・ホース及びパイプの亀裂・損傷の有無を目視などで点検する。 びパイプのクランプの取付けに緩みがないか、目視などで点検する。 のゴム等の劣化等によりホース及びパイプの固定に異状がないか、目視などで点検する。 経年車は、クランプのゴムの変形や劣化（摩耗、硬化、欠損等）に注意する。	台	ホース・パイプの			
		クランプの取付状態	件	台	台
		クランプのゴムの劣化	件		台
それの	台	クランプの取付状態	件	50万km未満 台	H28年以降 台
				50超～100万km 台	H27～H24年 台
		電気配線の干渉	件	100万km超 台	H23年以前 台
	台	他の部分との接触	件	50万km未満 台	H28年以降 台
		ホースの劣化	件	50超～100万km 台	H27～H24年 台
		接合部、クランプの緩み	件		
		エア漏れ	件	100万km超 台	H23年以前 台
規定の空気圧の状態で、当該点検の補助者にブレーキ・ペダルを一杯に踏み込ませ、ロッドのストロークが規定の範囲にあるかどうかをスケールなどにより点検する。		ロッドのストロークの規定範囲外	件	50万km未満 台 50超～100万km 台 100万km超 台	H28年以降 台 H27～H24年 台 H23年以前 台
制動装置のブレーキ・チャンバの機能（12月） ①規定の空気圧の状態で、当該点検の補助者 ホース（チューブ）の接続部に石けん水などを ②ペダルを戻したときのチャンバ・ロッドの戻りに ③必要がある場合には、ブレーキ・チャンバを を目視などにより点検する。（定期交換部品に		れ	件	50万km未満 台 50超～100万km 台 100万km超 台	H28年以降 台 H27～H24年 台 H23年以前 台
（バスのみ）					
非常口の扉の機能（3月）　非常口の扉がスムーズに開き、確実に閉まるか		不良	件	50万km未満 台 50超～100万km 台 100万km超 台	H28年以降 台 H27～H24年 台 H23年以前 台
車枠車体の損傷（3月）　フレーム、サイドメンバ、クロスメンバなどに腐食		傷	件	50万km未満 台 50超～100万km 台 100万km超 台	H28年以降 台 H27～H24年 台 H23年以前 台
タービン・ロータの回転具合等（12月）　バス輸入・販売事業者及びバス製作者が定め ※ターボチャージャー潤滑系の配管部品類の		ロータとの接触	件	50万km未満 台 50超～100万km 台 100万km超 台	H28年以降 台 H27～H24年 台 H23年以前 台

化　件

③ 「不適合」の欄には、不適合があった台数を記入してください。ただし、複数の不具合箇所があっても1台と計上してください。

④ 「不適合別内訳件数」の欄には、それぞれの項目について内訳を記入してください。
ただし、どの項目にも当てはまらない場合は、③「不適合」台数のみに記入し、内訳を記入いただく必要はございません。